

中国語母語話者の雑談における人称代名詞の機能

—視点を操作する手段としての「人家」(RENJIA)と「你」(NI)に注目して—

儲叶明(儲葉明) (筑波大学大学院)

1. はじめに

参与者同士が特定の目標達成を志向しない自由な会話である「雑談」は、制度的でないやり取り (Levison 1983) としても定義される。しかし、そこにあえて制度的な意味付けを見いだそうとすれば、それは、会話を通して参与者同士が「今・ここ」という時と場を共有し、動的に対人関係の実践を行うことにほかならないだろう (筒井 2016)。特に、雑談の中で「今・ここ」にいない第三者について言及する際に、話し手がどのような言語的資源を用いて、どのように聞き手と第三者を指し示すかは、話し手自身のスタンスを反映し、「今・ここ」の会話の場の対人関係に影響を与えられ考えられる。その代表的な資源として、「コミュニケーション参加者たちの視点の撮り様、スタンスの採り様」(小山 2012: 72) を示す直示表現が挙げられる。本稿は、中国語母語話者による雑談の分析から、「今・ここ」にいない第三者について話す際に、話し手がいかに言語的資源を用いて自身のスタンスと、対人関係上の距離を調整するかを探るものである。分析の焦点として、一人称にも用いられる「人家 (RENJIA)」の三人称の用法と、二人称代名詞「你 (NI)」の聞き手以外 (一人称) の用法を取り上げ、それらの語用論的機能と、社会指標的意味 (小山 2012) を探究する。

2. 先行研究

初めに、本研究で着目する人称代名詞「人家」と「你」について、先行研究からその特徴を概説する。中国語談話において「人家」は、一人称代名詞としても用いられるが (呂 1980)、語用論的制約・特徴の多面性が指摘される三人称としての用法も存在する。楊 (1991) は、「人家」の三人称の用法を分析するためには、発話者、聞き手、指示対象という三者関係に注目することの重要性を指摘したうえで、使用場面の特徴・制約を、①先行文脈照応、②発話者にとって指示対象が既知であること、③発話者が聞き手と親和的であること (発話者と同世代もしくは、目下か、身内の相手に対して使用可能)、④発話者の指示対象寄りのスタンス (同意、賛成など) を表出する、という四点にまとめている。しかし、楊 (1991) による指摘は十分であるとは言えない。なぜなら、話し手が「人家」を使った場合、発話者のスタンス (同意、賛成など) は確かに指示対象寄りになるが、対人距離で言えば同時に指示対象から遠ざかるため、より多重な意味合いがあるからである。

一方、二人称代名詞の「你」についても、談話において、聞き手以外の指示対象を指すものとして使用される場面がある。このような「你」は「虚構的指示」(森 2010: 73) と呼ばれ、森によれば、このような「你」の使用が為される場面は、①一般論の語り、②一般論を装った体験談、③話し手自身を指す場面に分類できる。その中で、「一般論を装った体験談」と「話し手自身を指す」場合、「你」を用いることはそれぞれ「誰であってもきっと同じような印象を抱くであろう」、「どんな人だって自分と同じ状況に立てば同じような苦しさや驚きを味わうであろう」(森 2010: 79) というニュアンスを生み出すと指摘されているが、「自分以外の人も共感してくれるはずである」という想定である点において、両者にはさほど違いがあるとは言えない。

これまでの「人家」と「你」という人称代名詞に対する議論は、ドラマのセリフなどを用いて語用論的観点から議論されたものが多く、実際の相互行為における使用に着目した研究には章 (2016) などがあるが、全体的には多くない。小森 (1992: 197) は、人称代名詞は同等な構造によるものではなく、その根底には発話の主体と発話の対象との関係があると主張する。人称詞の選択における発話者、発話対象、指示対象という三者関係の影響を議論するには、実際の談話を文脈のなかで理解する視点から、人称代名詞の使用を検討する必要があると考えられる。そこで本稿では、中国語母語話者同士の自然会話の分析から、「人家」と「你」の使用について議論する。データは、中国語母語話者の友人同士による 3 つの雑談の録音であり、「今・ここ」にいない第三者に言及する場面を取り上げたものである。そのなかにも出現した「人家」と「你」に注目し、それらの相互行為的機能と社会指標的意味を検討する。

3. 事例分析

3.1 反駁して近づけ、擁護して遠ざかる「人家 (RENJIA)」

事例(1)は、同じ大学出身の親しい友人、A、B、C、Dの4名が集まって食事をした際の雑談からの抜粋である。事例の直前、4人はその場にいないJという人物のゴシップをしていた。Jは4人と同じ学校出身者だが、Cとは同級生ではあったもののそれほど親しくなく、AとBとは面識がある程度である。ゴシップの内容は、収録時に、某大手企業に就職が決まったJの、SNS上での自慢に対する否定的な評価であった。4人はJのSNSの投稿を読みながら、評価を加えたり、笑ったりしていた。以下の事例はそのようなゴシップの収束位置にある。なお、10分間に及ぶゴシップでは、対象者Jが収束部以外、すべて三人称代名詞の「他/她」によって指示されていた。

事例(1) ゴシップの収束部

- 01 B: 就是 这就是一帮生活阴暗的人
これって生活に苦しんでいるやつらが
- 02 A: ¥対:…:…:是的是的¥
そう:…:…:
- 03 B: ¥在背后嘴碎 就在背后嘴碎别人啊¥
陰で他人の悪口言っているだけじゃん
- 04 A: @是的是的是的@
そうそうそう
- 05 B: 就生活是有多苦啊
生活どんだけ苦しんでんだよ
- 06→A: 对 其实人家现在过得很好 hhhh
(cに顔を向けて)
そう実はRENJIA (Jを指す) がリア充だろ
うけどね hhhh
- 07→C: 人家一个月工资好几万呢 (真面目な口調)
RENJIA は一か月の給料数十万だよ

(事例の直後、話題はJの所属している会社の労働体制及び給与体系へと移行していき、参加者の口調も真面目なトーンに変わっていった。)

01-06 行目まで、Bは「これ」(01行目)とこれまでの自分たちゴシップの行為を指示し、「生活に苦しんでいるやつら」(01, 05行目)、「陰で他人の悪口を言っているだけ」(03行目)と、相互行為の場における4人のこれまでのゴシップ行為について否定的に評価している。それに対してAは母音の引き延ばし(02行目)や肯定表現を重ねて(04行目)強く同意を示した。ここで注目すべきは、06行目と07行目である。まずAはCに目線に向け、「其实人家现在过得很好」(実はRENJIAはリア充だろうけどね)と発話する。この発話は明らかにCに宛てられている¹。これに対して、07行目でCも同様に「人家(RENJIA)」を用いてJの給与について言及し、Aの発話に根拠を付け加える形で同意を示す。先行研究を踏まえると、「人家」は親和的關係にある話し手と聞き手の間で、話し手が指示対象寄りのスタンスを表し、「指示対象のための弁護もしくは聞き手に対する反駁の語気が感じられる」(楊1991: 45)とされている。この知見を踏まえると、06行目でCに宛てられたAの発話は、本来ゴシップの指示対象J寄りのスタンスを示すため、後続文脈におけるCによる同意や共感は考えにくい。しかしこの事例では、後続の

反応としてCの同意(07行目)が起きていることがわかる。この理由として、次の二点があると考えられる。一つ目に、やり取りの文脈を踏まえると、06行目のAの発話は、指示対象であるJ寄りのスタンスであることは確かだが、ゴシップはCだけではなく、その場にいる全員の共同行為であるため、06行目でAが反駁しているのは聞き手のCだけではなく、ついさっきまで「一緒にゴシップをしていたわたしたち」であると考えられる。一方、ゴシップの収束位置で参加者同士がわざわざ「今・ここ」にいないゴシップの対象者寄りのスタンスを表出したことにはどのような意味があるのだろうか。本人のいないところでその人を否定的に評価する行為であるゴシップは、社会の一般通念、倫理、道徳という基準から逸脱した行為としてみなされる。このような逸脱的な行為を共同的に遂行することは、背徳感を伴うとされている(片岡2016)。ゴシップ収束の位置で参加者同士が自らを「生活に苦しんでいるやつら」(01, 05行目)とカテゴライズしたのも、「人家」を利用してゴシップの対象者Jと同一の立場を取るのも、ゴシップの参加者同士としての「わたしたち」の逸脱はあくまでも一時的なものであり、自分自身はまだ倫理的な基準に則っているという、社会的規範への志向性によるものだと言えよう。二つ目に、先述の通り「人家」の使用は話し手が指示対象から対人距離的に遠ざかり、聞き手との親和的な関係性に基づくという特徴がある。ここでの「人家」の使用は、まさに指示対象を「われわれに属さないもの」として構築する一方、「今・ここ」にいる「わたしたち」を「共に規範から逸脱し、共に苛まれる」という共謀者としての連帯感を生むものと考えられる。すなわち、この事例のゴシップ収束における人称代名詞の「人家」は、少なくとも、①「指示対象」寄りのスタンスを表し、まだ規範に則っている「わたしたち」という背徳感を軽減する挽回の装置、②それによって生まれる「共謀者」としての「わたしたち」という連帯感の創出、③「指示対象」寄りのスタンスを表す一方、本来「われわれ」に属さないゴシップの対象者を「ヨソもの」として距離を取る、という三層の働きしていると考えられる。次に、同じくやり取りの中で対人距離を調整する資源としての人称代名詞「你」の使用をみる。

3.2 第三者との「対立関係」へ誘う「你(NI)」

¹ AがCに顔を向けたのは、Jの同級生であったCがJについてより知識を持つことが関与している可能性もある。

事例(2)は、20代の中国語母語話者の女性同士による会話である。事例の直前にSは、自分の妹が肌にコンプレックスを抱いている話をした。それに触発されRは自らの思春期のニキビを巡る話を始めた。01-03行目でRは「所:::有」、「全:::是」(ぜ:::んぶ)と形容詞や副詞の母音を引き延ばして自身のニキビのひどさを主張している。05-06では、「今・ここ」にいない「おばさん」を登場人物として導入したうえで、06行目では引用マーカーである「说」を伴った直接引用の形で、自身が触れられたくない話題(ニキビ)についておばさんが触れたことを再現している。その後07行目-11行目では「もう苦しくて引け目を感じる」とRは親戚にニキビを言及されてしまうことについて不快な態度を表明し、Sは発話を先取りしてそれに共感を示している。注目すべきは、12行目のRの「所有亲戚到你家里来就说你脸」(全ての親戚があなたの家に来てあなたの顔についてあれこれ言ってね)と発している点である。12行目の発話では、二人称代名詞「你」が属格として使用されているが、ここでの「家」と「顔」がRの所有物であることは文脈から明らかである。したがってここでの二人称の「你」は聞き手Sではなく、R自身を指していることがわかる。この箇所について、次の三点を指摘する。①01-06行目のRによる一連の自己開示は、登場人物の「おばさん」を、Rが触れてほしくないニキビのことを話題にする、対立する側の人物として位置付けている。②12行目ではRがまず三人称複数の「他们」(彼ら)によって先行の登場人物を指標し、その後言い直して「すべての親戚」を発し、二人称の「你」と並置されていることがわかる。三人称は基本的に、発話の主体と発話の対象という発話の基盤からはずされたとされ、小森は、発話の場に属さない三人称とほかの人称(一、二人称)の非対称性を指摘している(小森 1992: 197)。この意味で、三人称によって指標されている「親戚」は、「你」の指示範囲から排除されていることがわかる。③ここでの「你」は、「どんな人だって自分と同じ状況にたてば同じような苦しさや驚きを味わうであろう」という先行研究で指摘された「你」(森 2010)の意味と類似するが、この事例における二人称代名詞「你」は、②で指摘した通り、少なくとも、先行文脈の中で登場した「親戚」が含まれていない点において根本的に異なる。つまり、ここでの「你」の指し示す範囲は、「どんな人でも」ではなく、「親戚」を「你」の対立側に回し、先行の登場人物(ここでは親戚)を排除した「全ての人」になる。このような「你」の使用は、「親戚」に家に来られてあれこれニキビについて評価されるという体験を、聞き手Sの身に起こったものであるかのように臨場感を演出するための、話し手Rによる操作として考えられる。この場合の「你」の使用は、聞き手を自分と同じ立場に置くだけではなく、三人称「他」との対立的な立場に聞き手を誘い込む操作として考えられる。このような三人称代名詞と二人称代名詞の共起と、人称代名詞の間の非対称性を利用した視点の操作は、他の事例でも観察された。

事例(3)のKとJは、異なる研究分野を専攻する、20代の男性の大学院生である。事例(3)の直前でKは論文の査読審査に落ちた経験をJに語る。Kは、論文が通らなかった原因をJによって聞かれた後、以下の説明を始める。

事例(3)

- 01 K: 理工科是这样的 额::: 每个:::审稿人啊 他有自己的taste 就说::: 他觉得这个理论 如如果 你是出的理论跟他的理论相悖的话 他就 不承认你 理系はこう 査読者は 彼らはそれぞれ自分の taste があるのだ というのは あなたが主張した理論が彼のと相いれないと彼が思うのであれば彼はあなたを認めてくれないもんだよ
- 02 J: hhhhhhhh
- 03 K: ¥你 怎么说服都说服不了他 ¥
あなたは どう説得しても彼を納得させるのは無理だよ
- 04 K: ¥他就 不承认你 ¥
なにがなんでも彼はあなたを認めてくれない
- 05 J: 那::: 不是 承认不就打他脸了么
それはそうでしょ 認めたら彼は自己矛盾になるから

事例(2)

- 01 R: 跟我一样(両手の指で相手を指し)我我我以前高中还有大学的时候脸上 满::: 脸痘痘 [所::: 有 的(両手の人差し指で顔で円を描く)
私と一緒に 私は高校と大学の頃は顔にぜ::: ンぶニキビだったの
- 02 S: [哦哦哦
おおお
- 03 R: 就是没有一块好皮肤(両手の人差し指で顔で円を描く)全::: 是逗逗 的 肌何一つなかった ぜ::: ンぶニキビだった
- 04 S: 嗯::: ン
うん::: ン
- 05 R: 然后我 我二姨就到我们家来了
それから私の二番目のおばさんがうちに来てね
- 06 R: 然后就说 哎呀你看你那豆豆怎么怎么样
それから ほらあなたのあのニキビどうんぬんとか言って
- 07 R: 你看 我心里都已经很难受很自卑了吼
ほら 私はもう心の中で苦しくて引け目を感じているのに
- 08 S: 快点要把 ¥不要把话题转到这里来哦 ¥
はやく話題をこっちに振らないでほしいよね
- 09 R: 嗯嗯嗯
うんうんうん
- 10 S: 就想 sakeru [这个(.) 话题
この話題をさげたい
- 11 R: [对对对 对
そうそうそう そう
- 12 R: 对 就不想(0.2) 正面去想这个话题然后 他们就 说 所有亲戚到你家 里来就说你的脸
そう 真正面からこういう話に立ち向かいたくない それから彼らは 全ての親戚があなたの家に来てあなたの顔についてあれこれ言ってね

対立する立場にある「査読者」が最初に導入され、後続する語りの中で、「査読者」が三人称の「他」によって指示され、二人称「你」と対称的に使用されている点である。ここでも、先行研究で指摘された一般論、人一般という解釈も通用しそうだが、事例(2)と類似して先行コンテキストで導入された「査読者」が「你」の指し示す範囲から排除されていることがわかる。また、事例(2)と同様に、「査読者」が主語として導入された直後、人称代名詞を入れなくてもよい箇所、すぐさま三人称の「他」によって指し示され、聞き手を指す二人称の「你」と並んで使用されている。これは、話し手が、先行の登場人物の行為があたかも聞き手に不利益をもたらすかのように臨場感を演出することを可能にし、自身と第三者との対立関係に聞き手を引き込む効果を有すると考えられる。実際、この視点の操作の結果として、05行目で聞き手のJは、三人称を使用して「査読者」を指し示し、Kの先行発話への理解のスタンスを表明している。

4. まとめ

以上の事例分析から得られた考察をまとめると、以下の図1、図2のようになる。

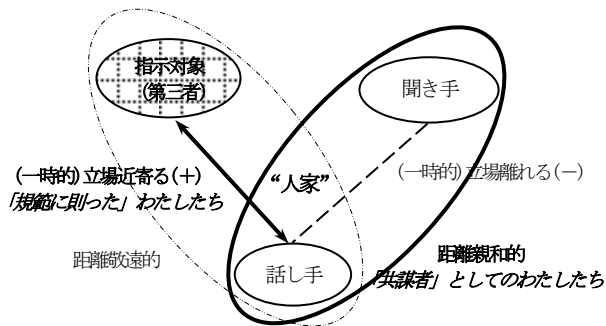


図1 「人家 (RENJIA)」実践 (事例1)

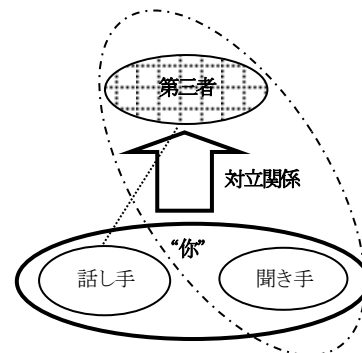


図2 「你 (NI)」の実践 (事例2, 3)

まず、図1に示すように「人家 (RENJIA)」実践において、話し手は指示対象に立場を(一時的に)近付ける一方、社会的距離は実質的に遠ざかる。一方、聞き手とは立場を(一時的に)離すと同時に、実質的に社会的距離を近づけることで親和的な関係性を創出する。「人家」は、「離れて近寄る」という対人関係の機能を果たすことが示唆された。楊(1991)は「人家」の使用条件として話し手と聞き手が親和的な関係性にあることを指摘しているが、本研究の事例からは、聞き手と話し手の親しさが、「人家」使用の条件であると同時に、使用によって社会的連帯が促進されるということも指摘した。また、事例において、ゴシップの収束位置に現れた「人家」には、①社会的規範に則る「われわれ」という背徳感を軽減する挽回の装置、②「共謀者」としての「わたしたち」という連帯感の促進、③「指示対象」寄りのスタンスを表す一方、本来「われわれ」に属さないゴシップの対象者を「ヨソもの」として疎遠化する、といった多層的な社会関係的な機能があることが明らかになった。一方、二人称代名詞の「你 (NI)」の実践には、図2の通り、先行文脈で導入されていた第三者の登場人物が含まれない場合がある。また、「你」の使用が、第三者が引き起こした行動が聞き手に不利益を与えるかのような臨場感を演出し、話し手と第三者の対立関係に聞き手を巻き込む装置として用いられていることが明らかになった。本稿で指摘したような、三人称代名詞と並置することで、登場人物を他者化し、聞き手と話し手を同一化する装置としての「你」の使用にも、注目する必要があるだろう。主に話し手と聞き手という二者関係のみからの検討ではなく、実際の談話の文脈の中で言語資源が果たす複雑な機能を追うことが、今後の語用論研究において必要なのではないだろうか。

参考文献

- 井出里咲子(2016). 妻へのインタビュー談話に表出する子育てスタンスの日米比較 国際日本研究 8, 2, pp. 1-16
 片岡邦好(2016). 雑談とゴシップを超えて:規範と逸脱から考える 村田和代・井出里咲子編 雑談の美学 pp. 281-307 ひつじ書房.
 小森道彦(1992). 人称ダイクシスの磁場 安井泉編 グラマー・テキスト・レトリック くろしお出版 pp. 185-209.
 小山亘 (2012). コミュニケーションのまなざし 三元社
 章茜(2016) 滞日高度人材中国人女性のアイデンティティ:ナラティブインタビューの分析から 筑波大学人文社会科学研究所修士論文
 筒井佐代 (2016). 評価の対立による対人関係の構築 村田和代・井出里咲子(編) 雑談の美学 ひつじ書房 pp. 145-166.
 森宏子(2010). 虚構的指示における二人称代名詞「你」 流通科学大学論集:人間・社会・自然編 23, 1, 73-85.
 杨凯荣(1991). 現代中国語における人称代名詞「人家」について:三人称代名詞「他」との比較を通じて 対照研究 つくば言語文化フォーラム編, 12, 34-50.
 吕叔湘(1980). 現代漢語八百詞 商務印書館.